

グリーンリーフ



写真：大瀬戸厚生園介護スタッフのホームページ写真撮影風景
※撮影時のみマスクを外しています

令和3年12月発行 第34号

障害者支援施設 大瀬戸厚生園
瀬戸広域デイサービスセンター
グループホームさくら

障害者支援施設 光明園
広域障害者生活支援センター 光明園
共同生活援助施設 鹿追の里（長崎市）

〒857-2303

長崎県西海市大瀬戸町瀬戸西濱郷 1603-12

TEL 0959-23-3030

FAX 0959-23-3263

<https://ryokuyokai.jp/>



厚生園・光明園



レクリエーション大会

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より施設の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り、お礼を申し上げます。

例年であれば文化祭を開催していましたがコロナウイルス感染対策のため、ご家族・地域の方々・ご来賓の参加が叶わず、十月二十三日（土）にレクリエーション大会を開催しました。

また、今回の行事ではレクリエーションごとに厚生園・光明園に分け感染対策に努めました。

ポッチャ・カラオケを午前と午後に分けて行い、利用者の皆さんは時間の許す限り楽しまれていた様子でした。

来年度は皆様方と共に行事が出来るよう、感染症の終息を願うばかりです。

作品紹介

十一月六・七日の二日間、大瀬戸コミュニティセンターにて「ふれあい集い」の作品展示会が開催されました。当施設でも、作業療法で制作した作品を展示させて頂きました。その一部をご紹介します。

展示会では、福祉施設などで活動している文化サークルや、個人での作品、地元の中学校・高校からも沢山の作品が展示されておりました。



レクリエーション大会



デイサービス



タコ、釣れるかな？



開幕！

みんな真剣です（笑）



赤組が勝ちました！



めっきり寒くなってきました、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

さて、デイサービスでも、施設と同日の十月二十三日（土）にレクリエーション大会を開催しました。今回も感染予防の為、事業所ごとの開催となりました。

デイサービスでは紅白のチームに分かれ、午前中に「タコ釣り大会」と「何点とれるかな？」をおこないました。どちらも新種目で皆さん楽しまれていたようです。

午後からはトーナメント方式で「ボッチャ」を行いました。好プレーもあり、大変盛り上がり上がっていました。ちなみに紅組が勝利しました。

午前の部、午後の部ともに、白熱した闘いとなり、終始笑顔が絶えないレクリエーション大会となりました。

それでは皆様、体調にお気をつけてお過ごしください。



さくらでは、去る10月23日、レクリエーション大会を開催しました。

本来は全施設合同で行うのですが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から各施設単独での実施となりました。

左右のユニット合同で玉入れ合戦を行い、普段は静かに過ごしている利用者様も積極的にお手玉を投げたり、いっぱい抱えて投げ入れる方がいたりなど、皆さん楽しんでいただけたようでした。

感染状況もよくなってきているので、行事も次年度こそは例年通りの規模で実施できればと思います。



ドライブでの外出再開しました！



海のように見えるねー



仲良し3人組



弁当のうまかー！

新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきたということで、しばらく中止していたドライブを再開しました。以前のように全員での外出とはいきませんが、少人数で数回に分けて実施しております。しばらくは気の抜けない状況は続くでしょうが、早く以前のように何でも気兼ねなく楽しめるようになっていいですね。

鹿追の里



鹿追の里では、十月六日に野外活動を行いました。

今回は、数年ぶりに魚釣りを柳ふ頭にて行いました。

初めのうちは中々魚が釣れず、ただただ沈黙の時間が流れていましたが、徐々に魚が釣れ始め、小さな魚ばかりでしたが、合計で十六匹を釣ることができました。

また、お昼は弁当を購入し、ふ頭で食べましたが、風が気持ちよく、いつも以上に弁当がおいしく感じました。

利用者さんからは、『また釣りに行きたい！』『今度は大きな魚を釣ってみたい！』『外で食べた弁当が最高だった！』という声が聞かれました。

機会があれば、また魚釣りを行いたいと思います！



温冷配膳車の導入

「温かい物は温かく」

大瀬戸厚生園・光明園では、十一月より食事の保温・保冷ができる、「温冷配膳車」を導入いたしました。

これまでに、「食事の配膳時に冷めている」「冬は温かいまま食べた」との意見や要望を受けておりました。

導入後の感想として、「温かいまま食べられる」「ありがとう」と笑顔で言っていたいただいた利用者の声が印象的でした。



ほのぼの日記

ある生産活動の記録〜第三回



収穫の様子



ホクホク美味しい安納芋です



里芋大豊作！

天高く馬肥ゆる秋と申しますが、天が高すぎて雨が少ない・・・農業に携わる者としては少々天候に振り回される秋でもあります。

さて、園芸活動ではこの季節お待ちかねのサツマイモの収穫を行いました。

まあまああの収穫量があり、茶話会にて芋の天ぷらに調理してメンバー全員で美味しくいただきました。

その他、里芋や今年初めて挑戦した長芋と生姜等の収穫も行いました。

里芋については豊作でしたが、初挑戦である長芋と生姜についてはまだまだ経験が足りないな・・・という結果でした。

これから冬にかけては、大根やカブ、キャベツ、白菜にブロッコリーと冬野菜の代表ともいえる数々のラインナップを育成中であり、まだまだ忙しい農作業が控えております。

寒さに負けず、野菜たちのようにぐんぐん成長中の園芸活動でした。次回をお楽しみに！

編集後記

日に日に肌寒くなり年の瀬もすぐそこまで迫ってきた今日の頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年からは世界で猛威を振るっている新型コロナウイルスも、幸いにもここ日本においては落ち着いてきております。

海外ではまだ大変な状況が続いている国、地域も多くあり、まだ安心できるというわけではありませんが、少しずつかつての日常を取り戻していけるのではないかと思います。

さて、先日たまたまなのですが、月食を見ることが出来ました。

ふと見上げた空に普段とは様子が違う月が見え、幻想的なその姿にしばらく目を奪われました。

今回の月食は日本全国で観測できたそうで、前回同じような月食が観測されたのはなんと八十九年前、次回見られるのは六十五年後だとか。

一生に一度の経験というものはなかなかできないものではありますが、目を凝らしてみると実は日常のいたるところでこういった経験が隠れているのではないかと思ったり出来事でした。

時間に追われて慌ただしく過ぎていく日々ですが、たまにはゆっくり立ち止まってみると普段は見落としてしまうような感動に出会えるのかもしれないですね。

